

睡眠時無呼吸症候群(SAS)検査について

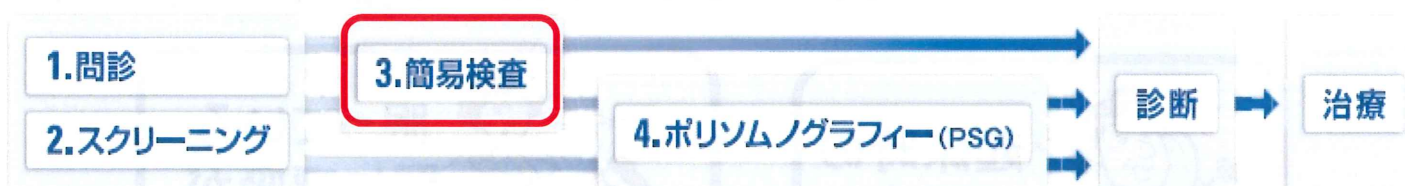


診療の流れ

OSASの確定診断には、睡眠に関連する複数の項目を同時に測定する、終夜のポリソムノグラフィー (Polysomnography: PSG) が必須です。

しかし、終夜検査を支える体制や設備などの制約により、

全例にPSGを施行することは困難です。その際はOSASが疑われる患者には、まず、スクリーニングもしくは簡易検査を行い、さらに睡眠状態や呼吸状態をより詳しく把握する必要がある場合には、PSGを施行します。



睡眠評価装置

▶ 携帯用睡眠時無呼吸検査装置 SAS-2100

検査項目

SpO₂

脈拍

気流

いびき



承認番号:21700BZZ00301000

〈保険点数〉

D237 終夜睡眠ポリグラフィー
(携帯用装置を使用した場合):720点
D238 脳波検査判断料:180点

睡眠時無呼吸症候群(SAS)の主な症状



いびき



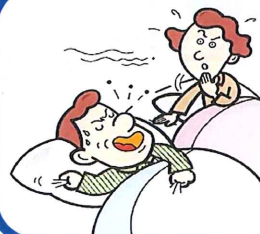
日中の
眠気



熟睡感
がない



起床時の
頭痛



眠っている
間に呼吸が
止まる

製品特長



SAS-2100はSASの簡易検査装置に求められる

- ・「簡単に装着・操作できること」
- ・「自宅で検査ができること」
- ・「測定データの信頼性向上」を柱に開発されました。

1. 在宅検査に適した装置
2. 簡単かつ高機能な計測ソフト



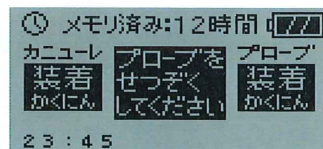
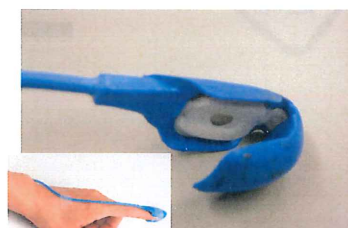
在宅検査に適した装置



患者さんが在宅で簡単に検査を行えるように設計

1. 簡単装着

- 使用するセンサはSpO₂センサ(フィンガープローブ)と鼻カニューレの2つだけ。
- 指に沿った形状のフィンガープローブで装着ミスも少なく簡単に装着できます。
- センサの装着状態が悪い場合は、エラーメッセージでお知らせします。
- やさしい肌触りのリストバンド。保護カバーと一体で、腕にも装置にもやさしいデザインです。



2. 小型・軽量

- 本体の重さは電池を含めてもわずか約100g(センサ含まず)。つけていることが負担にならない重さです。



在宅検査に適した装置



3. 簡単操作

機械操作が苦手な方でも、在宅で簡単に操作ができます。

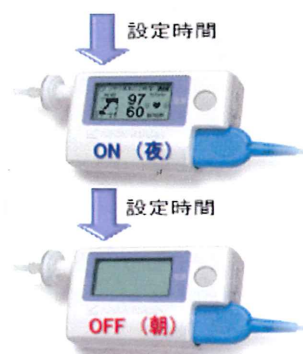
ボタン1つで測定開始

センサ装着後、
電源ボタンを押すだけで測定開始。



自動実行設定機能

設定した時刻に自動的に検査を開始、終了します。
(時刻設定はパソコン経由で行います。)



製品の構成



本体セット



表示部

背面: 電池収納部
(単3乾電池一本)

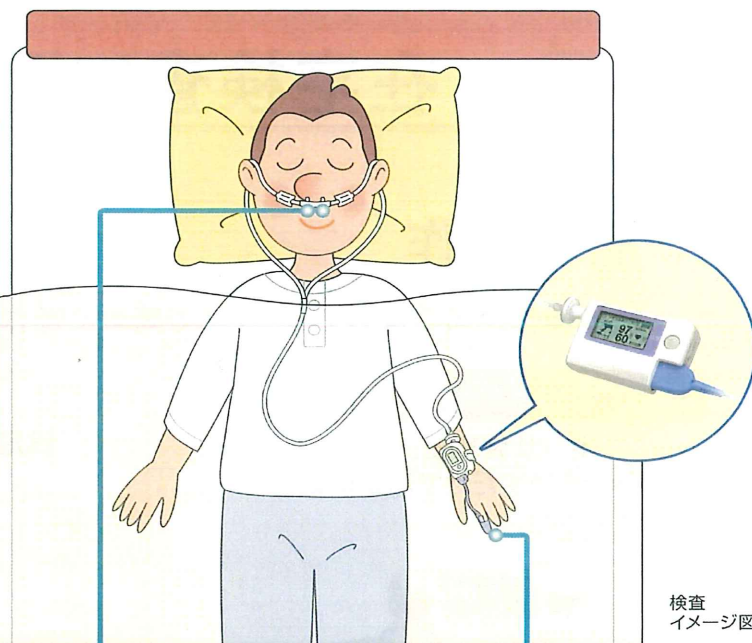
電源スイッチ



アクセサリ
キット



※: 単品販売あり



検査
イメージ図

気流センサー

口鼻からの気流の流れを測定し、無呼吸や呼吸が弱くなった状態（低呼吸）が無いかを調べます。1時間あたりの無呼吸/低呼吸の数（無呼吸低呼吸指数：AHI）を算出します。SASの重症度を診断する上で重要な指標です。

動脈血酸素飽和度 (SpO₂)

血液中の酸素濃度の目安をパーセントで表示します。換気が悪くなると、酸素濃度が下がり、体に悪影響を与えます。換気の指標となる重要な測定項目です。

表示画面例

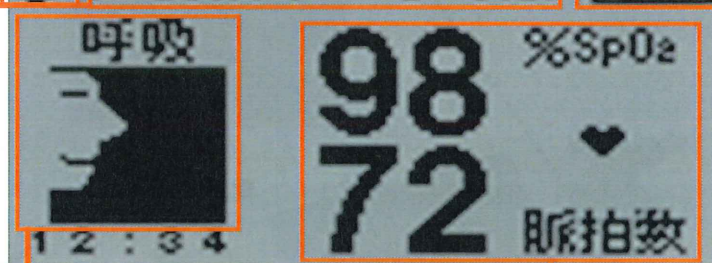


自動実行設定

① メモリ済み: 8時間

電池残量

メモリされている
データの合計時間

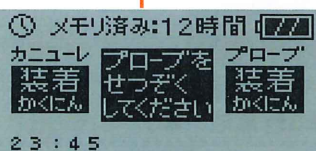


カニューレの接続状態

呼吸を検出すると、動画で
呼吸状態が表示される

プローブの接続状態

♥マークの点滅と共に、酸素飽和度
の値と脈拍数が数値で表示される



接続や装着に問題があると
エラー画面が表示されます。